

病害虫発生情報

平成22年8月31日
中部営農センター



水稻のトビロウソウ

トビロウソウの発生は平年並みの予想です。坪枯れが発生する可能性は低いと考えられますが、出穂の遅いヒノヒカリ等の中性品種では、圃場を確認し、9月8～16日頃に成虫及び幼虫の数がイネ1株当たり5頭以上確認される場合は防除が必要です。



水稻のコブノメイガ

コブノメイガの発生はやや多い状況です。出穂した圃場では産卵が少ないため、コブノメイガを対象とした防除は必要ありません。



水稻の斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類の発生は多い見込みです。今後出穂するヒノヒカリ等の作付け圃場では、穂揃期及び穂揃期7日の防除を徹底し、その後もカメムシ類が認められる場合は7～10日後に防除を行って下さい。



水稻の病害

穂いもちの発生は、やや少ない見込みです。葉いもちが発生している圃場では、出穂前後の2回、防除を徹底しましょう。出穂後に天候不良が続く場合は、穂揃期の防除後7～10日目に再度防除を行いましょう。紋枯病の発生は、少ない見込みです。

水稻のことで何かご質問がありましたら
中部営農センターまでお願いします。

() 27-3200

(フリーダイヤル) 0120-704-831